

西日本旅客鉄道株式会社
福知山支社 人事課勤務

くろうち

れいこ

倉内 玲子さん

Profile

プロフィール

2003年3月 経済学部経済学科卒業

2003年4月 西日本旅客鉄道株式会社 入社
現在、福知山支社 人事課勤務

滋賀大学経済学部を選ばれたのは?

社会に貢献ができ、社会で役に立つ即戦力的なことを学びたいと思っていましたので、経済学部への進学を強く希望していました。また、当時景気もよくなく、両親へも金銭面であまり負担をかけたくないと思っていましたので、自宅から通学可能な、国立大学であり伝統のある滋賀大学経済学部を選びました。

滋賀大学で4年間を過ごされた思い出は?

一番思い出に残っていることはゼミ^{*1}での活動です。堂本教授のゼミに所属していましたが、先生の専門が国際経済でしたので、留学生の方も多く、また、社会人学生の方もおられ、私と同世代の人たちだけでなく、いろいろな方の考え方を学ぶことができました。

また、毎年他大学のゼミ生と討論を行うディベート大会に出場したり、学園祭に出店したり活動は活発でしたので、ゼミを通じての結びつきが強く、楽しい思い出ばかりです。今でも、ゼミ生の方とは連絡を取り合っています。

滋賀大学で学んでみて、どうでしたか?

滋賀大学でなければ学べない授業がたくさんありました。例えば、近江商人の哲学論や経営論、琵琶湖の環境を考える授業など、滋賀の土地だからこそ学べる授業や企業のトップの方の講義^{*2}が開講されるなど、すごく勉強になりました。近江商人の経営論や三方よし^{*3}の考え方は、社会に出てからも役立ちますので、もっと学んでおけばよかったと後悔しています。

また、社会人になり、学生時代に学んだことをもう少し深く知りたかった時、先生方に気軽に尋ねられるよう、もっと親交を深めておけばよかったと思っています。



就職活動を通して、後輩へ何かアドバイスはありますか?

私の経験から、この会社に入社したいと思う「熱意」を持てる会社に、いかに早く、いかに多く出会うことがポイントだと思います。口下手な人、文章がうまく書けない人もいるかもしれませんが、この「熱意」が何よりも武器になります。「熱意」を持って面接に臨めば、必ず相手に自分の気持ちが伝わると思います。

大学には、学生の就職活動をサポートする就職支援室が設けられているのですが、就職活動中も悩み事や面接試験に関する相談など、親身になって対応していただき助かりました。また、就職活動では、3回生の時インターンシップ^{*4}により企業で就業体験をしたことが、すごく役立ちました。ぜひ、皆さんもこのような制度も利用し、自分の希望をかなえてください。

壁にぶつかったり、たくさんの人とコミュニケーションをとることは社会人になって必ず役立ちます。

現在お勤めされている西日本旅客鉄道株式会社を選ばれた理由は？

面接試験の際、面接官の方から「当社はまだ100点満点の会社ではなく、足りない部分を改善できる視点を持った人と一緒に働きたいというのが基本的なスタンスである」趣旨のことを伺いました。その部分にすごく惹かれ、幹部の方との最終面接の際もそうでしたので、日々通学で電車を利用する中で私が感じていたことが、少しでも改善に役立ち、自分の存在価値も見出せるのではないかと思います。思いこの会社を選びました。

現在のお仕事内容、やりがい、厳しさなど教えてください。

総合職^{※5}として入社し6年目になりますが、現在は福知山支社の人事課で「教育・表彰」の担当をしています。具体的には、福知山支社管内には、約1,000名の社員がおりますが、社員一人ひとりの強み・弱みを踏まえた上で、効果的な研修を企画しており、自ら講師になったりしています。

会社の基本的なジョブローテーションとして、入社6年目までは様々な分野の業務を経験し、7年目までに自分が軸足を置くべき分野を決めるようになっています。よって任される職や仕事が短期間で変わることもありますし、私自身も人事課での採用担当の他、営業課で旅行商品を造成したり、車掌や駅員（みどりの窓口でのきっぷ売り）も経験しています。

採用担当をしていた頃、自分が面接し、話をした学生が入社してくれた時は、本当にうれしかったです。ただ就職は、人生の中でも大きな節目でもありますので、その責任の重さを深く感じています。



取材を終えて

学生時代のことや仕事のことなどいろいろとお話いただきましたが、仕事のことを語るまなざしに「熱意」を感じました。やはり、倉内さんにとり、この会社が一番なのでしょう。平日は、1日が仕事で終わるそうですが、その分休日には、中学時代から続けているコーラスのサークルに通い、気分をリフレッシュしているそうです。いよいよ7年目に入り、軸足を置く時期となります。「熱意」を持って、益々頑張ってください。

お仕事でいつも心掛けておられることや大切なことはありますか？

現在は、短い期間で色々な業務を経験させて頂けるので、いつも、何かのめりこめる材料を見つけ、常に前向きに仕事ができるように創意工夫を心掛け、「仕事を楽しみたい」と思っています。併せて、大きな組織ですので、常に周りを意識していないと福知山支社しか見えなくなりますので、いつも会社全体を見るような視点を持つようにはしています。

また、組織の中で仕事を進めていくには、やはり上司や同僚に、報告・連絡・相談し協調してもらい、時には人を動かさなくては前には進めません。学生時代よりも、より自分と違った考え方を持つ人や違った年代の方と一緒に仕事もしますので、人間関係やコミュニケーションの大切さを痛感しています。

滋賀大生へのメッセージ

学生時代の4年間、こんなに自由な時間が持てる時期は、今後ないと思います。クラブ活動、ゼミ活動、勉強、何でもいいですので、人には絶対負けないものを見つけ、打ち込んでください。打ち込んだ中に苦労や喜びがあり、人間的にも大きくなれると思います。また、ひとつのことをやり遂げようとする、壁にぶつかることや、たくさんの人とコミュニケーションをとる必要がでてきます。この経験が、社会人となり必ず役立ちます。

また、会社では、他の人の意見も聞いた上で、自分の意見を求められる機会が非常に多くあります。その中で、いろいろな考え方に接している人は、周りの意見を聞いた上で、自分の意見をまとめられると思います。ですから、日頃から新聞や本を読み、いろいろな考え方に接し、たくさんの情報を吸収してください。

※1) ゼミナールの略で、3回生から4回生の2学年にわたって配置されている少人数演習形式授業「専門演習」のこと。

※2) 経済学部卒業生の同窓会組織である陵水会の協力の下、その豊富な経済界での人脈を生かして、平成11年度より、アサヒビール(株)、シャープ(株)、伊藤忠商事(株)、(株)滋賀銀行など企業の方を講師として招き、「現代の経済」「現代の経営」という科目で開講している。

※3) 俗に「売手よし」「買手よし」「世間よし」と称され、近江商人の到達した経営理念とされている。現在のCSR(企業の社会的責任)の源流として評価されている。

※4) 概ね8・9月の1~2週間の期間、一般企業、官公庁、会計事務所などで、実際の業務を体験し、職業意識を高めようとする制度。他大学に先駆けて、平成13年度より導入し、一定の条件を満たすと単位認定もされる。

※5) 総合職採用とプロフェッショナル採用があり、総合職採用者は、本社、支社におけるスタッフとして、企画立案業務や会社全体のマネジメントなどの業務に従事する。一方プロフェッショナル採用者は、乗務員等、直接部門(現場)を中心に業務に従事する。